












腹腔鏡下大腸切除術予定表

様

LAC点墨あり/結腸切除

経過	手術2日前	手術前日	手術当日		術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日	術後7日頃退院
			手術前	手術後							
日時	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
到達目標	・手術前の心身の準備ができ、不安の表出ができる ・手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する		・創の痛みがコントロールできる ・血圧が安定している		・腸の動きが回復し飲水開始できる ・ベッド上で座ることができる	・病室内を歩行することができる。	・吐き気や腹痛がなく食事摂取できる ・病棟内歩行ができる ・お通じがみられる。		・腹部症状がなく食事摂取ができる ・排便コントロールができる。 ・歩行ができ日常生活に支障がない		
食事	・食事は昼食まで普通に食べることができます。 ・夕食から翌日検査のため欠食です。水分は飲まれてかまいません。	・検査のため朝から食事はありません。 水分は飲まれてかまいません。 ・点滴が始まります。	・欠食です ・以降は水分も飲めません。(飴やかムも口にできません)	点滴の管が入っています 	持続点滴 お水が飲めます。 栄養剤が始まります。	カロリーの高い栄養剤が始まります。	→ 食事がはじまります。 5分粥食		全粥	常食	
活動安静リハビリ				・安静 床ずれ、肺炎防止のため寝返りします ・術後ICU(3A)に帰ります	ベッド上で座ったり立つ練習をします	立って歩く練習をします 腸の動きを促進させ合併症を防止するため	→		自由		
清潔		おへそのごまをとってシャワーを浴びます	洗面、ハミガキを済ませておいてください 		体を拭きます 	シャワーができます。					
排泄		便の確認をします		おしっこの管が入っています	→	きちんと歩行できることやチューブ類の管理について看護師の指導を実施しおしっこの管を抜きます。					
疼痛				・希望時点滴・注射で痛み止めをします(我慢せずお知らせください)							
治療検査	採血・レントゲンがあります 	下部消化管内視鏡検査があります。(手術をする部位に印をする検査です。)		・レントゲンがあります	採血・レントゲンがあります 		採血・レントゲンがあります 				採血があります 
処置	眠前に下剤を飲みます	・朝6時から下剤を内服します。便の性状と回数を確認しますのでチェック表に記入していただきます。 ・手術のため寝る前にも下剤があります。 ・除毛、おへそのごまを取ります。	手術予定時間の5分前に手術室に行きます(家族同伴)	・お腹に管が入っています。 ・点滴があります			→	食事がきちんと食べられていることを確認後点滴がかわります。	→	お腹の管がとれます。 	
説明指導	◆看護師が手術に必要な物品や手術前の処置や経過について説明します。またパンフレットに沿って、手術後の痛み・手術後の合併症予防について説明します。 ①紙おむつ2枚、②楽飲み、③腹帯2枚、タオル3枚、ティッシュ1箱、歯ブラシ、コップ、歯磨き粉 *全て売店で購入できます。 *名前の記載をお願いします。 ◆主治医・麻酔医が手術や麻酔について説明し同意書の確認をします。 ◆手術室の看護師が訪問します。		◆主治医より御家族の方へ手術の結果説明があります。  ◆手術後は痛みは我慢せずにお知らせ下さい。適宜痛み止めを使用します。 ◆深部静脈血栓症予防のためにストッキングを履きます。またベッド上で足の運動をしましょう	◆手術後は麻酔の影響で腸が動きにくくなるので頑張って動きましょう。 ◆肺炎予防のために吸入をします。積極的に痰を出しましょう。 ◆チューブ類は引っ張ったり曲がったりしないように注意しましょう。	◆腸の動きを良くするために積極的に歩きましょう。 ◆歩く際にふらふらしたり、気分が悪いときは遠慮せず看護師に教えて下さい。一緒に歩く練習をします。	◆嘔気・嘔吐・腹痛・お腹が張る時はお知らせ下さい。	栄養指導があります。 	パンフレットを用いて退院指導を行います。		退院予定	

これはあくまでも予定です。変更になる場合がございます。